

釧路川源流域ネットワーク憲章・ルール

2026.4月版

釧路川源流域ネットワークの活動目的

～釧路川源流域の自然を守り次世代へ残していくために～

〈釧路川の価値〉

透明度の高い水。水辺を中心に暮らしている野鳥や野生動物。川を覆うように生い茂る樹木や倒木、水中の水草。そこを住処とする魚や水生昆虫。「釧路川源流域」が持つ独特の自然景観に多くの人が魅了されています。

〈釧路川源流域ネットワークについて〉

釧路川源流域ネットワークは「釧路川を大切にしたい」という共通認識のもと、釧路川源流域で活動するカヌーガイドを中心に、様々な立場の個人及び団体で構成されている組織です。

釧路川源流域には様々な人が集います。釧路川の風景や水辺に親しむ人、釣りやカヌー、カヤック、SUPなどのレジャーを楽しむ人、農業や観光業等に携わり川とともに生活している人など、多種多様な立場や考え方が釧路川源流域ネットワークの構成員として釧路川と関わっています。

〈釧路川源流域ネットワークの使命〉

釧路川源流域ネットワークの主な構成員は、継続的に釧路川を利用し、観察しています。2000年頃にはあったはずの植物。いたはずの魚。川の流れ水の質や量の変化。何が原因かは断定できませんが、釧路川源流域の魅力が少しずつ損なわれ変化しているのは明らかです。このような状況下、まず釧路川源流域ネットワークが率先して源流域の自然環境や利用環境に向き合わなければならないと考えます。

「我々の利用方法は適正なのか？」

「未来に向けて持続可能な行動なのか？」

「オーバーユースになっていないだろうか？」

損なわれた自然を回復させ、次の世代にも恵まれた釧路川の自然環境を引き継いでいくために、我々は今何をすべきでしょうか。今一度「釧路川源流域」のあり方を考え、行動していくこと。それが我々釧路川源流域ネットワークの使命です。

釧路川源流域ネットワーク憲章

1. わたしたちは、釧路川源流域の自然環境保全と利用のバランスを常に考え、活動します。
2. わたしたちは、地域とのつながりを大切にします。
3. わたしたちは、様々な立場、様々な利用者の方との対話を大切にします。
4. わたしたちは、わたしたちの考えや活動の情報を発し、多くの利用者と共有します。
5. わたしたちは、次の世代へ川の魅力を伝え、美しい川を継承していくため川と調和した暮らしの在り方を提案します。



釧路川源流域の利用ルール

～釧路川源流域ネットワーク所属事業者向け～

1. 「鏡の間」と呼ばれる場所は、湧き水で形成される独特の景観を持つ人気スポットです。はっきりした原因はまだわかりませんが、2000年頃と比較すると湧水量も減り、藻や水草なども確実に減少しています。このことを踏まえ、以下のことを徹底します。

- 奥まで侵入しません。
- 水中植物を傷つけるので、なるべくパドルは使用しません。
- 水中に降りたり、周辺の土地に上陸しません。
- 釣りをしません。
- 長時間の占有をしません。
- 写真撮影など鏡の間の様子を記録し、長期的なモニタリングを通じて環境維持、修復の取り組みに貢献します。

2. 釧路川源流部は、水辺を生活の場とする野鳥や野生動物がたくさん暮らしています。繁殖や子育てなど重要な場所であることを認識し、配慮、思いやりのある行動を心がけます。

- 野生動物を驚かしません。
- 故意に大声を出しません。

3. 釧路川源流部は倒木が非常に多い川です。行く手を遮るように倒れた木、ワイルドなこの川の雰囲気損なうことなく、ここにしかない釧路川源流の魅力にこれからも触れてもらえるように努力します。

- 自然景観と安全性を両立させるため必要最低限の処理・整備に留めます。
- 処理・整備した場合はモニタリングシートで必ず報告し、構成員で共有するとともに、データを蓄積し、継続的に検証します。

4. スタート地点、ゴール地点で使用させていただいている場所は、町の施設や私有地、国が管理している場所です。このことを踏まえ、以下のことを徹底します。

- みどり橋のたもとにある広場は地主さんのご厚意で使わせていただいている私有地です。場を荒らさないよう大切に、慎重に利用させていただきます。
- 施設の方とコミュニケーションを図り、ルールに従って利用させていただきます。
- 車両や用具の置き場にするなどして長時間占有せず、他の利用者に迷惑をかけません。